

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年7月11日 (2013.7.11)

【公開番号】特開2010-277083(P2010-277083A)
 【公開日】平成22年12月9日 (2010.12.9)
 【年通号数】公開・登録公報2010-049
 【出願番号】特願2010-120234(P2010-120234)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

B 6 5 H 5/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 1 8

G 0 3 G 21/00 3 7 2

B 6 5 H 5/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月24日 (2013.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートを搬送するように構成された第 1 のシート搬送モジュールと、
 前記シートを搬送するように構成された第 2 のシート搬送モジュールと、
 前記第 1 のシート搬送モジュールから前記第 2 のシート搬送モジュールに前記シートを受け渡す前に前記第 1 のシート搬送モジュールの速度を設定するように構成されているとともに、前記第 1 のシート搬送モジュールから前記第 2 のシート搬送モジュールにシートが受け渡されるときに、前記第 1 のシート搬送モジュールのトルクを、前記シートの張力が第 1 のシート張力値になるように制御するためのトルク値、に設定するように構成されている制御サブシステムと、
 を備える処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の処理装置であって、前記制御サブシステムは、更に、前記シートが前記第 1 のシート搬送モジュールを退出し始めることを判定し、前記シートが前記第 1 のシート搬送モジュールを退出するにつれて前記シートの張力が第 2 のシート張力値になるよう制御するために前記トルク値を徐々に低減するように構成されていることを特徴とする処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の処理装置であって、前記制御サブシステムは、更に、前記第 1 のシート搬送モジュール内の前記シートの張力を判定し、前記シートが前記第 1 のシート搬送モジュールから前記第 2 のシート搬送モジュールへと受け渡されつつある間、前記シートの張力が前記第 1 のシート張力値になるように制御するために、前記第 1 のシート搬送モジュールの前記トルク値を調整する、ことを特徴とする処理装置。